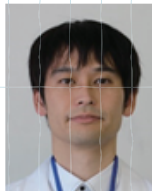


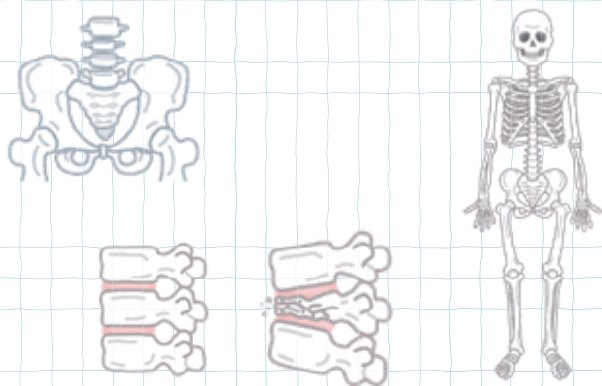
骨粗鬆症

整形外科 吉田 匡希



骨粗鬆症とは骨折危険性が増大した状態のことをいいます。大腿骨、腰椎のいずれかで骨粗鬆症と診断されたものを骨粗鬆症ありとするとわが国では、1280万人（男性300万人、女性980万人）にも及びます。

通常、骨の強さは骨密度+骨質で評価します。骨粗鬆症による骨折とは、骨量の減少や骨質の劣化により骨強度が低下し、わずかな外力で発生する骨折であり、脆弱性骨折と表現されます。骨強度が低下した状態では高齢者に多い大腿骨頸部骨折、腰椎圧迫骨折をはじめ、様々な骨が折れやすくなります。また、大腿骨頸部骨折、腰椎圧迫骨折などが一度起こると、次々に骨が折れていく危険性が高くなります。そうすると自分で動けなくなり、さらに筋力も低下し、内臓疾患になったり、最終的には生命予後を悪化させることも知られています。つまり、骨粗鬆症は生活の質、生活機能を低下させるだけではなく、長期的には死亡リスクを高めるということにつながるのです。



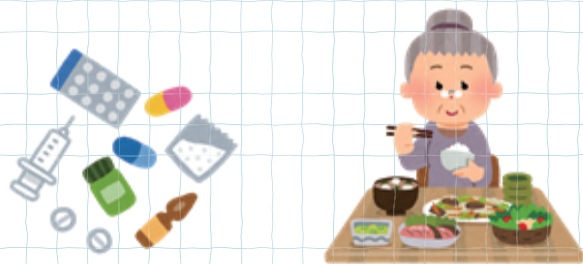
さて、骨粗鬆症の原因ですが、加齢、喫煙、食生活（極端なダイエット、偏食）、運動不足、閉経などがあります。

特に女性は女性ホルモンの低下により閉経後急激に骨密度が下がります。

近年のわが国のデータでは椎体骨折は減少傾向にありますが、大腿骨骨折は、現在も増加傾向にあります。

次に骨粗鬆症の治療です。主に、食事療法、運動療法、薬物療法があります。脆弱性骨折を防ぐには、バランスの良い食事、生活環境整備、運動などがあります。

また、治療薬についてですが、現在様々あります。投与方法としては内服、点滴、皮下注射があり、投与回数でも週1回内服、月1回内服、半年に1回注射、1年に1回行う注射、毎日の自己注射など、様々なニーズに合わせた薬が使用できます。



一度、整形外科外来を受診してみてください。

簡単な問診、検査（レントゲン、骨密度測定、血液尿検査）などを行い、骨の状態を評価し個人にあった治療方針を示し、いつまでも健康な生活が送れるよう、少しでもサポートしたいと思います。



建設の状況

平成23年よりとりかかった病院新築計画。
長年にわたる建築で、患者さんには長い渡り廊下
をはじめ、色々でご迷惑をおかけしてまいりましたが、
いよいよ完成間近となりました。
今後の日程は、5月19日(土)竣工式、
5月28日(月)グランドオープンの予定です。



正面玄関付近の建築状況

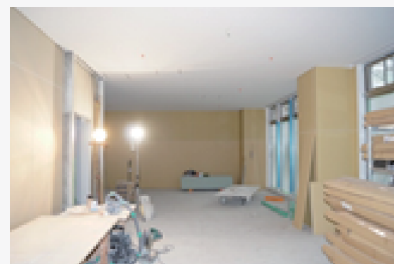


敷地内薬局の鉄骨建方



外部足場を解体しています

グランドオープン 平成30年5月28日(月)予定



レストラン(上)、リハビリセンター(下)



現在、本館各階の壁・床クロス貼り、天井内配管を施工しています。
立体駐車場エレベーターは、基礎杭施工を完了し、躯体基礎工事をしています。
このエレベーターは、平成30年4月末完成を目指しています。
引き続き、工事へのご理解・ご協力をよろしくお願い致します。



《 駐車場料金のご案内 》

内 容	料金区分
病院利用者の方 (外来受診、健診、各種申請等)	無料
入院患者の付添いの方	1時間無料 (以降 100円/1回)
入院患者の見舞いの方	1時間無料 (以降 300円/1時間毎)
入院患者の方	2,000円/1回

※駐車券は出庫の際に必要になります。折り曲げたり紛失しないようご注意ください。
病院をご利用の方は、用務先で駐車券を提示してください。

無料の場合でも、機械での処理が必要となります。

※当院では、入院中の患者さんご本人のお車の駐車は、原則ご遠慮いただいております。やむを得ない事情等による場合は、駐車場利用申請書の記入をお願いしております。詳しくは、入院窓口職員、または病棟看護師にお尋ねください。

新棟建設の工事の関係で、駐車スペースが一部制限されております。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

